

令和4年4月23日（土）

8:45-8:50 開会の挨拶

8:50-10:05

シンポジウム （発表 20 分× 3、総合討論 15 分）

難治性がんに対する新しい併用療法戦略の開発

座長 松本 孔貴 （筑波大学 陽子線医学利用研究センター）

平山 亮一 （量子科学技術研究開発機構 放射線がん生物学研究グループ）

1 Function and mechanisms of action of a novel activator of HIF-1

原田 浩 （京都大学大学院生命科学研究科がん細胞生物学）

2 放射線治療時に生じる DNA 損傷を起因とする腫瘍免疫応答の研究

柴田 淳史 （群馬大学 未来先端研究機構）

3 新規素材を用いた医療工学からの難治性がん治療戦略

～スマートポリマーで拓く未来のがん治療～

荏原 充宏 （物質・材料研究機構(NIMS)スマートポリマーグループ）

休憩 5分

10:10-10:50

一般演題 1 (発表 6 分、質疑各 3 分)

座長 白井 克幸 自治医科大学附属病院 放射線治療科

- 1 成田記念病院／陽子線センターにおける増感放射線療法
芝本 雄太 (成田記念陽子線センター・成田記念病院放射線科)
 - 2 癌の治療期間を快適に過ごすために
～がんサポーターシップケアの観点から～
村松 博之 (桐生厚生総合病院 放射線科)
 - 3 高齢者初発肝細胞癌に対する陽子線治療患者の治療前コリンエステラーゼ値と
予後予測との関連
飯泉 天志 (筑波大学附属病院 放射線腫瘍科)
 - 4 定位放射線治療における Redistribution の寄与
野島 瞳 (東京医科歯科大学 口腔放射線腫瘍学分野)
-

10:50-11:30

一般演題 2 (発表 6 分、質疑各 3 分)

座長 山田 滋 (量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

- 1 中性子捕捉療法のための血清アルブミンを利用したホウ素キャリアの開発
中村 浩之 (東京工業大学 化学生命科学研究所)
 - 2 Wee1 阻害による温熱誘発細胞死の増感効果
古澤 之裕 (富山県立大学工学部医薬品工学科)
 - 3 CD44v 陽性子宮頸がん細胞の抗酸化機構の抑制による化学療法増感に関する研究
永澤 秀子 (岐阜薬科大学)
 - 4 子宮頸部扁平上皮癌患者における放射線治療による CD8 陽性細胞密度と PD-L1 発
現の変化と予後
森 康晶 (量子科学技術研究開発機構 QST 病院)
-

休憩 5 分

11:35-12:25

ランチタイムレクチャー (50分) (発表40分、質疑10分)

座長 小野 公二 (大阪医科薬科大学 BNCT 共同臨床研究所 所長)

がん免疫に対する放射線腫瘍医としての思い

三橋 紀夫 (ひたちなか総合病院 放射線治療センターセンター長)

ランチ休憩 30分

12:55-13:45

総会・表彰式 (50分) (総会10分 表彰式5分)

司会・座長 芝本 雄太 (成田記念陽子線センター・成田記念病院放射線科)

研究奨励賞応募に関する発表 (研究計画) 講演 (発表10分、質疑5分)

放射線照射誘発性 Irisin 発現増強によるがん転移抑制効果の検討

皆巳 和賢 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線腫瘍学)

協会賞受賞講演 (発表20分)

DNA 二重鎖切断の認識・修復の分子機構とがん治療への応用

松本 義久 (東京工業大学科学技術創成研究院ゼロカーボンエネルギー研究所)

休憩 5分

13:50-14:50

特別講演 (60分) (発表+質疑応答)

座長 中野 隆史 (量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門長)

がん死ゼロ健康長寿社会実現にむけて：QSTの取り組み

平野 俊夫 (国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 理事長)

休憩 5分

14:55-15:35

一般演題3 (発表6分、質疑各3分)

座長 尾池 貴洋 (群馬大学 腫瘍放射線学)

- 1 放射線治療効果早期評価のための生体動的核偏極MRIによる腫瘍内レドックス代謝の時間・空間的変動のイメージング
子安 憲一 (岐阜大学医学系研究科 放射線医学分野)
 - 2 HSP40/DNAJA1による構造変異型p53の安定化を介した癌転移促進機構の解明
戒田 篤志 (東京医科歯科大学 口腔放射線腫瘍学分野)
 - 3 栄養飢餓耐性解除能を有する(±)-uvaridacol Lの全合成
高木 晃 (神戸薬科大学薬化学研究室)
 - 4 新規HIF-1活性化因子ZBTB2によるHIF-1活性化分子機序解明とがん治療増感への展望
神邊 剛生 (京都大学大学院 がん細胞生物学)
-

15:35-16:15

一般演題4 (発表6分、質疑各3分)

座長 三浦 雅彦 (東京医科歯科大学 口腔放射線腫瘍学分野)

- 1 低酸素刺激によるDNA損傷修復活性の低下を担う分子機構の解析
高橋 樹 (京都大学大学院 生命科学研究所 がん細胞生物学)
 - 2 Possible contribution of insulin-like growth factor binding protein-3 (IGFBP-3) to cell migration and growth in a cell line derived from an endophytic tongue cancer
NG Esther Feng Ying (東京医科歯科大学 口腔放射線腫瘍学分野)
 - 3 アジド基を備えた蛍光プローブによる低酸素細胞の包括的イメージング
蒔苗 宏紀 (青山学院大学大学院 理工学研究科)
 - 4 腫瘍内低酸素環境におけるARHGAP45/HMHA1の発現制御機構と浸潤への寄与
Peter LEE Wai Tik (京都大学大学院 がん細胞生物学分野)
-

休憩 5分

16:20-17:35

ワークショップ (発表 15 分+質疑 3 分)

新しい時代の放射線治療 現状と今後の展望

座長 櫻井 英幸 (筑波大学 医学医療系 放射線腫瘍学)

小川 和彦 (大阪大学大学院 医学系研究科 放射線治療学講座)

1 免疫療法の基礎と臨床①：基礎研究からの視点

長谷川 純崇 (量研機構 放射線がん生物学研究グループ)

2 免疫療法の基礎と臨床②：臨床から

大西 かよ子 (国際医療福祉大学 医学部 放射線医学)

3 ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) の基礎と臨床

二瓶 圭二 (大阪医科薬科大学 放射線腫瘍学教室)

4 量子メスプロジェクトについて

篠藤 誠 (量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

17:35-17:40 閉会の挨拶

小川 和彦 (大阪大学大学院 医学系研究科 放射線治療学講座)